



Philippines Liloan

Photo & Text: Yasuaki Kagii

ガイド陣が語るリロアンの魅力。
ゲストも鍵井も語っちゃおう!!



リロアンマリビレッジのローカルポイントは、充実のマクロの生き物、華やかな水中景観が人気。スミロン島やアボ島への遠征ダイブもお薦めだけど、他にも魅力がいっぱい! まずは、やっぱりガイド陣。リロアン歴14年の日本人チーフインストラクターの関口さんをはじめ、互いに切

磋琢磨して成長をするローカルガイドの3人衆、そして女子目線の上原沙和子さん、田中光子さん。さらに、チーフマネジャーの陽子さんは、ゲストのみんながリロアンの海に夢中になれるようにトータルケアをしてくれる。さて、ガイド陣が思うリロアンの魅力とは?

【最初は関口さん!】

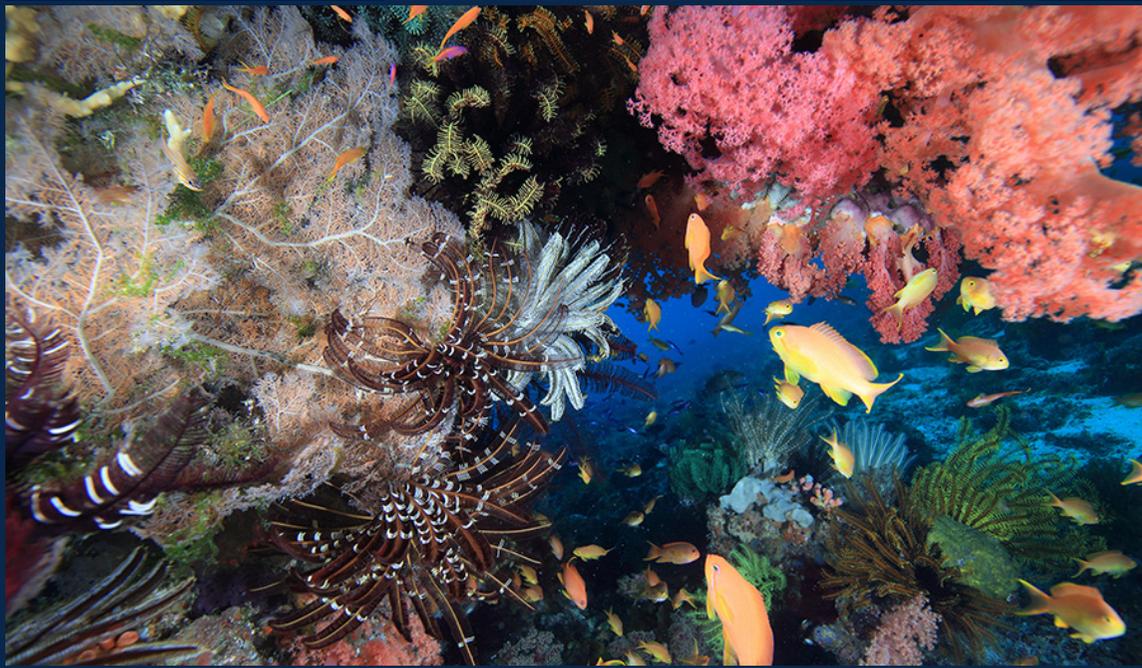
そんなに珍しい生き物ではなくても、背景を考慮して、ガイドをしてくれる。またフォト派にとってはありがたいアドバイスをくれる面白エンターテイナー。自分でカメラを持ち撮影しているときはいい被写体が見つからないが、ガイド中は素敵な生き物に出会うので、大変悔しがらるガイドさん。



Philippines
Liloan
Travel

▶リロアの海の魅力

我々が毎日のように潜っていても飽きることがない生物豊富な海。それがリゾートの目の前に広がっていることです。ゲストにとってはなんて恵まれた環境なのか! お部屋の目の前からボートは出発し、1~4分でポイントに到着、1ダイブ毎に帰ってくるからビギナーからベテランまで年齢層も関係なく楽チンなダイビングが可能です。またビサヤエリアでも人気のアボ島やスミロン島へのアクセスも良く、ダイバーのための海とリゾートです。



▶自分が好きなポイント

リロアンエリアではイラク、ハウスリーフ、LBR、ホワイトロック、マヌリバと至近距離にポイントがありますが、それぞれスペシャルな被写体が出ることがあります。全てのポイントに甲乙付けられません。同じポイントでもコースを変えるだけで新たな発見もありますし、入る時間帯によっても見られる生物が変わったり、光の入りが変わったりで嬉しい悲鳴を毎日あげていますよ。



▶リロアンに来るならどのシーズン?

普通でいったら、乾季に入る4月からですね。気温も透明度も水温も上昇してフィリピン全部がベストシーズンに入るからです。それでも水温が下がる冬の時期はウミウシが増えますし、オフシーズンが無いので皆さんの狙い次第で非常に楽しめます。また満月周辺なら、ジョーフィッシュやテンジクダイの口内保育が見られますし、新月のナイトダイビングは水中からでも星が判ります。水面から眺める天の川も一見の価値ありますよ!

▶ここだけは他のガイドに負けたくないところ

私自身一眼レフで写真を撮るので、水中撮影のアドバイスですね。コンデジでもミラーレスでも、ビデオでもなんでも相談してください。

▶日本人ダイバーへ

できるだけ少人数制で潜っていきます。ゆっくり、ノンビリが僕のテーマですので、じっくり派の方はたくさん良い写真を撮ってください。フィッシュウォッチ派の方もゆっくりと観察できますので、魚種が豊富なリロアンに遊びにいらしてくださいね。



Travel Philippines Liloan

【男前のローカルガイド!】

ローカルガイドのリーダーで、リロアンのガイド歴は5年程。冷静なクールガイで、たまに見せる笑顔が素敵。ガイディングはオーソドックスな感じでそつがない。さすが平均点が高いガイドさん。

▶リロアンの海の魅力

小さな田舎の漁師の村ですが、漁師さんが多いほど魚影も濃いということになります。水中では色鮮やかな魚があふれ、もっと目を凝らすと、小さな生物たちがたくさん見られるところです。

▶自分が好きなポイント

イラクポイントです。ここは他のポイントよりも魚やエビなどが多く、ゲストの方々にたくさん紹介することが出来るからです。そしてマクロもワイドも両方撮れるので、僕はこのイラクポイントが一番好きです。

▶リロアンに来るならどのシーズン?

4月の後半のGWからがいいですね。この時期になると水温が上がってくるので、ゲストにとっても良いし、じっくりと写真を撮っていてもストレスがありませんよね。もしリロアンに来るなら、長い休日を使ってノンビリと過ごして欲しいです。

▶ここだけは他のガイドに負けないところ

僕はフィリピン人ガイドですが、他のガイドに負けないぐらい努力しています。日本語だとカタカナ、ひらがなと少しだけですが漢字も書けるようになりました。日本人ガイドのようにスラスラとは書けませんが、もっともっと勉強していきます。

▶日本人ダイバーへ

こんなにも楽しいダイビングを長く続けて欲しいです。是非いろんな海に行って、たくさん楽しんでください。そしてリロアンでもお会いしましょう!



【意外な展開のあるジョセス!】

最初の20分が勝負! ロケットスタートで消耗が早い、なんて噂も…(笑)。珍しい生き物を探して見つけるときもあるけれど、普通に泳いでいる時に、急に何かを見つけてくることもある驚きのガイド。子供が5人もいるのもね。

▶リロアンの海の魅力

僕は元漁師ですが、この海は魚がたくさんいます。漁師からガイドに仕事が変わっても魚が多い海は嬉しいです。特にマリンビレッジ周辺は大きな魚が出ませんが、小さな生物が多くて、マクロ好きにはたまらないでしょう!

▶自分が好きなポイント

イラクポイント。僕にとって一番ベストなマクロポイントだからです。日本にいないスパインチークアネモネフィッシュやギンボの仲間が見れたり、ハナヒゲウツボも黒、青、黄色が見られるので、ガイドしていても楽しいです。

▶リロアンに来るならどのシーズン?

12~3月が僕のオススメです。水温が下がってくるので、ゲストの方は皆さん寒そうにしていますが、ウミウシが増えてくるので、普段よりも多くのウミウシが見られますヨ。

▶ここだけは他のガイドに負けないところ

他のダイバーやガイドよりも「目」には自信があります。なので僕は小さくてスペシャルなウミウシを探す事が、自分にとってチャレンジであり、楽しいことと思っています。是非ウミウシ好きのダイバー来てね!

▶日本人ダイバーへ

僕たちはスレートにカタカナで魚の名前を書く事が出来ますが、話すことができません。なのでダイビングが終わったあとに、間違えて日本語で話しかけないでください(笑)! リクエストがあれば出来るだけ答えられるよう頑張ってお見せします! ウミウシであれば喜んで、小さいウミウシを探します。

ウミウシ好きな JOECIST …これでジョセスと読みます…。



Philippines
Liloan
Travel



tsumi-shima   
ダイバーの夢をつみあげていく目



Philippines Liloan Travel

【名物ガイドの血を引く ローカルガイド!】

リロアンマリンビレッジで名物ガイドだった父親譲りの眼力で、小さいウミウシを連発して見せてくれる。それがあまりに小さくて…。かなりビビらせてくれるガイドさん。

▶リロアンの海の魅力

面白い海が目の前にあることです。朝焼けを見た後にそのまま早朝ダイビング。そしてリゾートに戻って朝食、これはポイントが近い証拠です。

▶自分が好きなポイント

僕が選んだポイントは2つあります。まずはイラクポイント。スペシャルな魚たちが多く、たくさんのゲストが喜んでくれます。そしてマヌリバポイント。他の場所よりも何故かウミウシが多いところ。それにベラも多いですね。

▶リロアンに来るならどのシーズン?

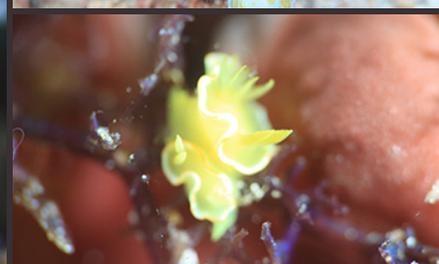
2~6月、水温が下がりウミウシが増えます。そして4月辺りから水温が上がり、違う種類のウミウシが増え、様々な魚の幼魚が一気に増えてきます。

▶ここだけは他のガイドに負けたくないところ

僕のお父さんが元マリンビレッジのガイドでした。お父さんのようにスーパーガイド目指し、日々頑張っています。もっと経験を積んで行きたいです。そうそう、他のスタッフよりもいつも笑顔です(笑)。

▶日本人ダイバーへ

初めて来るゲストさんや、リピーターさんへ。マリンビレッジで楽しく満喫出来る休日を過ごして、このノンビリスタイルを気に入っていただけるよう望んでいます。是非遊びに来てください。



【女子目線の「カワイイ？」生物を知るガイド！ SAWA（上原沙和子さん）】

日本人女子ガイドとして活躍しているSAWAちゃん。取材当日、関口さんと3人で潜り、私に何かを見せてようとする、途中で関口さんがインターセプトして私を連れ去っていく。頑張れよ?! SAWAちゃん?! 負けるなよ?! SAWAちゃん（笑）？

▶リロアンの海の魅力

マクロ好きにはたまらないほど生物が豊富なところ。海の中も陸もノンビリ出来る場所ですね。

▶自分が好きなポイント

イラクポイントです。理由は常に何か面白い生物が見つかること、可愛いギンボ系も多い。色鮮やかなソフトコーラルも豊富で、そこに群れるパープルビューティーを見るのが好きです。

▶リロアンに来るならどのシーズン？

4～6月の夏場のシーズンです。一日中天気がよく、雨はほとんど降りません。透明度も水温も上がるので海に入るだけでも気持ちがいいです！

▶ここだけは他のガイドに負けたくないところ

女子目線の「カワイイ？」生物なら、お任せ下さい!!

▶日本人ダイバーへ

水温が下がる 1～3 月はウミウシ祭りです。この時期が一番ウミウシが増えますので、ウミウシ好きは是非。水温が上がる時期は、透明度もいいので大物狙いもいいですよ！ オフシーズンが無いリロアンへお越し下さい。



【リロアン歴 20 年。マリンビレッジの歴史を知るダイバー！ 田中信子さん】

年間3~4度訪れ、1回の滞在が10日間ほどという信子さん。1回滞在中で、30~40本というリロアン愛が特に大きい。「リロアンマリンビレッジの魅力は、まずポイントが近いということですね。特に私は、リロアンエリア(ショートレンジ)が好きです。あと、ガイド陣の関口さんは、海の中で一緒に踊ってくれることが魅力かな(笑)? ローカルガイドの目の良さはピカイチ。でも老眼の私にはつらい…。1mmのウミウシとか教えてくれるけど、ゴミじゃないの?とってしまう(笑)。また、海中は、本当に被写体が多い。お気に入りにはジレンマブレニーやホワイトラインブレニーで、背景を気にしてガイドさんも

見つけてくれるし、自分でも、もう居る場所がわかっているのでも撮影も楽しいです。リロアンの海はマクロだけと言われているけど、所々にソフトコーラルにキンギョハナダイが群れていて、それは、見るだけでも癒されます。もう20年も通っているので、家に帰ってきた感じです。水上レストランの居心地が良いし、全てにおいてダイビング中心に考えられているので、使い勝手も良い。本当に何度来ても飽きないんです。でも、改めて考えてもその理由はわからない……。それが魅力なのかも(笑)。

Philippines
Liloan
Travel





Philippines
Liloan
Travel

【世界の海を撮影し、雑誌などに写真掲載する本格派フォトダイバー！ 畑中玲さん（リロアンマリンビレッジは2回目）】

「リロアンの海の緑色が好き!」と突拍子もない発言から始まった。「他の海には、それほど緑色がない、でも、リロアンの浅瀬には海藻の緑があって…。特にハウスリーフでテーブルサンゴが素晴らしい場所があるのですが、色のバランスがちょうど良いのです。健全なサンゴの上の黄色い魚、青い水、差し込む光、そして、それを取り巻く砂地の緑の海藻。その景色が本当に癒し系なのです。写真を撮らない人にとってはわからないかも知れないけど、撮る人にとっては楽しいポイントなんです。また、ホワイトロックも好きですね。あのメインの根のソフトコーラルとハナダイのコンビネーションの虜です。あの根だけで、2ダイブ、いやそれ以上簡単にできます! リロアンの「リロ」は渦潮の意味で、リロアンは潮が巻くところと言う意味。潮流があることで、このような素敵なポイントが点在しているのだと思いますが、滞在中は、その潮の流れを感じさせないポイントをガイドさんが選択してくれる。潮が安定している場所を毎回選択してくれるので、安心して潜れるのが嬉しいです。



tsumi-shima
ダイバーの夢をつみあげていく



【遠い海に行かなくても、身近な海で作品撮りができる海】

フィリピンのリロアンに来ているだけでも、「遠くの方に行ってるやん!」と言われても仕方ないですが…。でも、リロアンマリンビレッジまで来てしまえば、もう後は楽チン。マリンビレッジ周辺のポイントであるショートレンジは、とにかく華やかで、前述のガイド陣のように、自分たちの海をちゃんと把握しているので、とにかく頼りになる。何もリクエストしなくても、十分に生き物や良さな被写体を見せてくれるが、何か「このような生き物が、撮りたい?!」とリクエストしても引き出しが多いのか、臨機応変に対応してくれる。圧倒的な存在感のある被写体じゃなくても、超珍しい生き物でなくても、上手く写真を撮れる被写体を教えてくれる。本当に身近な海の良さを実感させてくれる。

Philippines
Liloan
Travel





ハウスリーフ

リゾートの目の前にあるポイント。ビーチエントリーはしていないが、ボートで15秒のポイント。浅場に大きなテーブルサンゴがあり、その周囲にはデバスズメダイが群れている癒しの空間。深場には、ニチリンダテハゼやカエルアンコウ、ニシキフウライウオなど、時間を忘れてしまいそうな生き物との出会いが待っている。



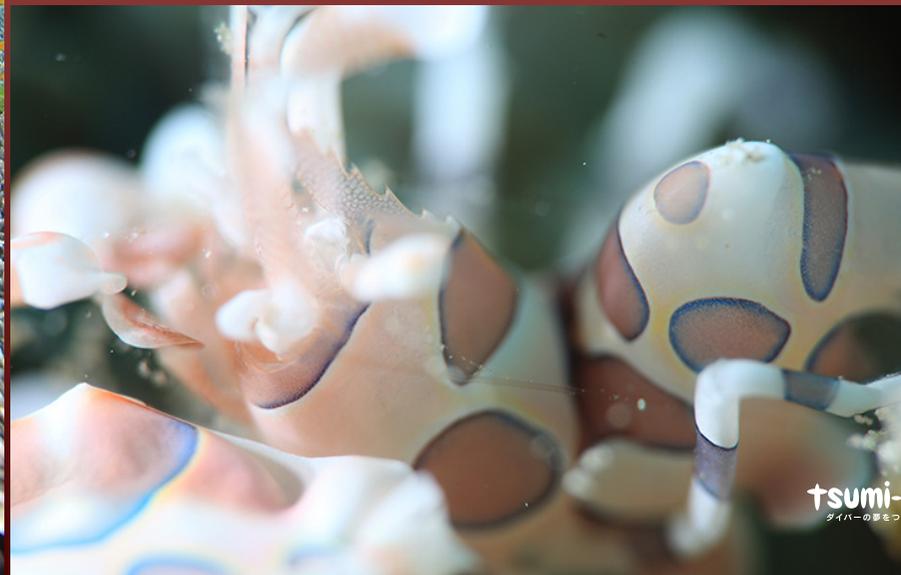
LBR

マリンビレッジから東側へ30秒のポイント。甲殻類が非常に多いポイントで、ピンクスクワットロブスター、ホシゾラワラエビ、ムチカラマツエビ、ナデシコカクレエビなどなど、エビカニ好きにはたまらないポイント。ファンコーラルにガラスハゼやハナダイの子供が居て、一眼レフでもコンデジでも、撮りやすい被写体も多い。

身近な海、ショートレンジの魅力！

ホワイトロック

マリンビレッジから東に5分のポイント。水深14mに大きな根があり、綺麗に咲き乱れるソフトコーラル、フィリピンの代表魚のメラネシアンアンテラスが群れ、ワイドでも撮影できる。また周囲にもウミシダが咲き乱れる小さな根などがあり、全体の印象としてはとてもカラフルで、フォト派にお薦めのポイント。



マヌリバ

マリンビレッジから東へ4分のポイント。カラフルなウミウシが一番多いポイント。ジョーフィッシュやスズメダイ、ベニハゼ系が多い。今回はフリソデエビと出会えた。逆さになった沈船があり、お魚たちの魚礁となっている。

Philippines
Liloan
Travel



Philippines Liloan Travel

イラク

西側に1分30秒のポイント。岩場と砂地が混在する場所で、リロアンエリアでは、一番生物が豊富なポイント。「共生ハゼやスズメダイ、ハナダイ、甲殻類、ハナヒゲウツボ、ウミウシなど、様々なリクエストに応えることができる」とガイドにとって味方のようなポイント。マクロ重視のダイバーには好都合で、非常に狭い範囲だけでも、多くの被写体を見つけることができる。

イラクⅡ

西側へ2分30秒のポイント。水深17mに横穴があり、周囲には、ハタンボ、キンメドキ、ハナダイたちが群れていて、中では、ハゼやロボコンなどの甲殻類が見られる。ドロップオフとスロープの地形があるため、見られる生物の変化に富む。

